

1. 科目名（単位数）	日本語教育演習（2単位）		3. 科目番号	EJJP3355
2. 授業担当教員	村松 喜久子			
4. 授業形態	講義と演習		5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係				
7. 講義概要	日本語を教えるためには、どのような教科書と指導法がよいかを実際に教案を作りながら考える。 1 直接法の授業を実際に体験する。 2 どのように教案を書くのかを学ぶ。 3 授業をしやすい教案とは何かをクラスで考える。 4 学習者主体の授業とは何かを確認しながら教案を作成し、模擬授業を行う。 ＊各自の教案をクラスで考え、それぞれの良い点・悪い点を意見交換する。			
8. 学習目標	授業に対する教案の作成ができる。 模擬授業を体験しながら「日本語指導」における大切なことがわかる。			
9. アサインメント （宿題）及びレポ ート課題	毎回授業の課題についてレポートおよび教案を提出する。 例：教案「指示語」を書く。			
10. 教科書・参考書・ 教材	【教科書】 プリントを使用する。必ず辞書を持参すること。辞書がない場合は欠席とする。 【参考書】 高見沢孟著『新・はじめての日本語教育１・２』アスク出版、2004。			
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. 授業に対する教案の作成ができるようになったか。 2. 模擬授業を体験しながら「日本語指導」における大切なことがわかるようになったか。 ○評定の方法 1 授業への積極的参加・授業態度 30％ 2 課題・レポート 30％ 3 期末試験（模擬授業） 40％			
12. 受講生への メッセージ	将来日本語教師になるための実践トレーニングとなる授業である。 みなさんの日本語学習体験をもとに、素晴らしい指導法を一緒に考えていきたい。			
13. オフィスアワー	詳細は初回授業時に説明する。			
14. 授業展開及び授業内容				
講義日程	授業内容	学習課題		
第1回	日本語教育の変遷	事前学習	初級日本語の授業を振り返る。	
		事後学習	レポート「理想の日本語教育」を書く。	
第2回	教科書について考える	事前学習	自分が学習に使った教科書を振り返る。	
		事後学習	レポート「より良い教科書」を書く。	
第3回	学習者主体の授業とは	事前学習	学生にとって良い授業は何かを考える。	
		事後学習	レポート「学習者主体の授業」を書く。	
第4回	直接法の指導について	事前学習	「直接法」について調べる。	
		事後学習	レポート「直接法の指導の良い点」を書く。	
第5回	指示語の指導について	事前学習	指示語を復習する。	
		事後学習	教案「指示語」を書く。	
第6回	テ形の指導について	事前学習	テ形を復習する。	
		事後学習	教案「テ形」を書く。	
第7回	「ある」「いる」の指導について	事前学習	存在を復習する。	
		事後学習	教案「ある・いる」を書く。	
第8回	イ形容詞・ナ形容詞の指導について	事前学習	形容詞を復習する。	
		事後学習	教案「形容詞」を書く。	
第9回	教案作成について	事前学習	教案の作り方を調べる。	
		事後学習	レポート「教案」を書く。	
第10回	指示語の指導について（模擬授業）	事前学習	指示語の授業を考える。	
		事後学習	内省「指示語」を書く。	
第11回	テ形の指導について（模擬授業）	事前学習	「テ形」の授業を考える。	
		事後学習	内省「テ形」を書く。	
第12回	「ある」「いる」の指導について（模擬授業）	事前学習	存在の授業を考える。	
		事後学習	内省「存在」を書く。	
第13回	イ形容詞・ナ形容詞の指導について（模擬授業）	事前学習	形容詞の授業を考える。	
		事後学習	内省「形容詞」を書く。	
第14回	模擬授業の発表とコメントの練習	事前学習	模擬授業教案を書く。	
		事後学習	自分が行った模擬授業に対する内省レポートを書く。	
第15回	総まとめ 日本語教育に関する授業発表	事前学習	発表授業教案を書く。	
		事後学習	発表された授業へのコメントシートを書く。	